

日立の冬は乾燥と強風に注意が必要

12月になると、次第に大陸からの高気圧が勢力を強め、天気図でみると、日本付近の等圧線が縦にならぶ、いわゆる「西高東低」の冬型の気圧配置となることが多くなります。

冬型の気圧配置になると、大陸の『冷たく乾燥した』空気が流れてきます。この空気が日本海を進むと、海から湿気を取り込み、『冷たく湿った』空気とかわり、本州の日本海側にやってきます。日本海側では、『冷たく湿った』空気により雪が降りますが、関東山地などの山を越える前には、湿気が落とされ、日立市を含む関東地方には『乾燥した』空気として届くこととなります。また、山地を越える際には、速度が速く、つまり風が強まります。

冬型の気圧配置の際、茨城県では北西の風となります。日立市のすぐ北西側には多賀山地など山があるため、乾燥や風の強まりが強化されます。北西側に山地が遠い、水戸地方気象台の記録と比べてみると、1月の平年の平均風速は、日立は2.7m/sと水戸の約1.4倍強くなっています。また、湿度は日立が55%、水戸が65%と、日立のほうが乾燥しています。

今年の冬の気候は (気象庁3か月予報)

関東地方は平年と同様に晴れの日が多く、寒気の影響を受けにくいため、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並の見込みです。

平年の値 (日立市役所)

項目	12月	1月	2月
平均気温 (°C)	7.3	4.6	4.6
降水量 (mm)	43.3	49.6	56.3
日照時間 (時間)	184.7	191.3	172.1
平均湿度 (%)	59	55	57

平年値 (1981~2010年の30年間の平均)

【12月から2月の1953年からの極値の記録】

- 日最大風速
18.1m/s (2007年1月7日)
- 日最小湿度
8% (1968年1月14日)
- 日最低気温
マイナス7.5°C(1955年2月12日)
- 最大積雪
19cm (1984年2月18日)

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。